

臨床研究「NICU・GCUにおけるMRSAに対する積極的監視培養の効率化を目指した検討」について

筑波大学附属病院小児内科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

MRSAの感染対策において積極的監視培養は有用ですが、採取部位や頻度は施設毎に感染症の発症状況やコストなどを考慮して行うべきとされます。当院での監視培養をより最適化するために、MRSAの検出状況について検討します。

② 研究対象者

2015年1月1日から2019年12月31日までに当院NICU/GCUに入院し培養検査を受けた患者様

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2023年12月31日まで

④ 研究の方法：診療録よりNICU/GCUの監視培養におけるMRSA保菌率や保菌状況を調査します。

⑤ 試料・情報の項目：出生時情報、診断名、転帰、監視培養検査結果などの診療情報

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

竹内秀輔 病院助教 筑波大学附属病院 小児内科

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族が本研究への参加を希望されず、情報の利用停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑨ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：小児内科 担当 竹内 秀輔

電話：029-853-3785（対応可能時間 平日 9時～17時） FAX:029-896-7428